

測度論的確率論 2018 S1S2

Homework 6

経済学研究科現代経済コース修士1年 / 池上 慧 (29186009) / sybaster.x@gmail.com

May 25, 2018

1 Ex6.3

F のサポートを以下で書くことにする。

$$S_F = \{x \in \mathbb{R} \mid \forall \epsilon > 0, F(x + \epsilon) - F(x - \epsilon) > 0\}$$

閉集合の定義より、 $\mathbb{R} \setminus S_F$ が開集合であることを示せばよい。任意に $x \in \mathbb{R} \setminus S_F$ を取る時、 F が非減少関数であることから、

$$\exists \epsilon > 0 \text{ s.t. } F(x + \epsilon) - F(x - \epsilon) = 0 \quad (1)$$

である。ここで、必ず $\epsilon > \eta > 0$ であるような η が存在し、そのような η について以下が成立する。

$$\begin{cases} F(x + \epsilon) \geq F(x + \eta) \\ F(x - \eta) \geq F(x - \epsilon) \end{cases}$$

(1) より、 $F(x + \eta) - F(x - \eta) = 0$ であるので $(x - \eta, x + \eta) \subset \mathbb{R} \setminus S_F$ である。よって定義より $\mathbb{R} \setminus S_F$ は開集合であることが確認できたので題意は示された。

2 Ex6.8

3 Ex6.10

4 Ex6.12

5 Ex6.14

$$E[X] = E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] + E[X1_{\{X > \theta E[X]\}}]$$

両辺二乗して、第二項にヘルダーの不等式を用いて以下を得る。

$$(E[X])^2 \leq E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}]^2 + 2E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}]E[X1_{\{X > \theta E[X]\}}] + E[X^2]P(X > \theta E[X])$$

これを整理して以下を得る。

$$P(X > \theta E[X]) \geq \frac{(E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] - E[X])^2}{E[X^2]}$$

従って、題意を得るためには以下が成立していれば良い。

$$(E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] - E[X])^2 \geq (E[X] - \theta E[X])^2$$

上から打ち切って期待値を撮っているため、 $E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] < E[X]$ であるので、左辺の中身は負である。一方で、 $\theta \in [0, 1]$ であるので右辺の中身は正である。これより、以下を示せばよい。

$$E[X] - E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] \geq E[X] - \theta E[X]$$

ここで、 $\theta E[X]$ よりも小さい値についてしか期待値を取れないので、 $E[X1_{\{X \leq \theta E[X]\}}] \leq \theta E[X]$ であることから上は確かに成立する。よって題意は示された。

6 Ex6.15

6.1 (a)

$p > q > 0$ とする。この時、 $f(x) = -x^{\frac{q}{p}}$ は凸関数である。従って Jensen の不等式より、

$$\begin{aligned} E \left[-(|X|^p)^{\frac{q}{p}} \right] &\geq - (E[|X|^p])^{\frac{q}{p}} \\ \Leftrightarrow E[(|X|^p)^{\frac{q}{p}}] &\leq (E[|X|^p])^{\frac{q}{p}} \\ \Leftrightarrow (E[|X|^q])^{\frac{1}{q}} &\leq (E[|X|^p])^{\frac{1}{p}} \end{aligned}$$

6.2 (b)

$\frac{r-q}{r-p} + \frac{q-p}{r-p} = 1$ であるので、ヘルダーの不等式を用いて以下を得る。

$$(E[|X|^p])^{\frac{r-q}{r-p}} (E[|X|^r])^{\frac{q-p}{r-p}} = \left(E \left[\left(|X|^{p \frac{r-q}{r-p}} \right)^{\frac{r-p}{r-q}} \right] \right)^{\frac{r-q}{r-p}} \left(E \left[\left(|X|^{r \frac{q-p}{r-p}} \right)^{\frac{r-p}{q-p}} \right] \right)^{\frac{q-p}{r-p}} \geq E \left[|X|^{\frac{p(r-q)+r(q-p)}{r-p}} \right] = E[|X|^q]$$

よって題意は示された。